

令和5年度 徳島北高等学校 第2回学校運営協議会 協議概要

1 日 時

令和6年3月15日（金） 午前10時30分から正午まで

2 場 所

徳島北高等学校 大会議室

3 （1）代表生徒による発表

①「総合的な探究の時間」（Kitako Take Off Project）課題研究発表

テーマ：SDGsについて

発表者：国際英語科1年生2グループ、4名の生徒がスライドを用いて、各テーマについて、日本とオーストラリアの家庭に実施したアンケート結果から考察したことを発表をした。

グループ1「ジェンダー平等を実現しよう」

グループ2「てまえどりについて」

②北高（国際英語科）で1年間過ごして

- ・海外語学研修 研修成果の動画視聴、経験したことから得られたことを発表した。
- ・台湾高校生との交流（「臺南市天主教聖功女子高級中學」訪日教育旅行団来校）
- ・通訳の活動を通じた地域ボランティア

③質疑

（2）協 議

①令和5年度教育活動の報告について、木屋村校長が説明した。

②令和5年度学校評価総括表について、北浦企画課長が説明した。

③生徒が主体的に参画する「学校づくり取組例」について廣瀬教頭がスライドを用いて紹介した。

- ・生徒の意見を反映した取組
校則規程の見直し、「シューズ型上靴」導入（災害時対策）
- ・委員からの意見を踏まえて導入した取組
「自転車ヘルメット着用」推進モニターについて

④意見交換

※資料

① 令和5年度 第2回学校運営協議会資料

② 令和5年度 学校評価総括評価表

③ 校誌「北翠 27号」

委員からの意見

- ・生徒の発表「ジェンダー平等を実現しよう」では、実際にクラスでできそうなこととはどのようなことがあるか。

(生徒の回答) クラスの友人達と課題を共有して、身近な校内から差別を解消したい。

- ・生徒の皆さんが、校内で働きかけする場合、負担にならないように少しずつしていくと良いですね。

- ・台湾の高校生や、アメリカの大学生の訪問により、対面での国際交流を経験できたことから、その経験を経て今後どのようなことをやりたいですか？

(生徒の回答) 藍住町のイベント「スマイリー・マルシェ」で海外の人を案内するボランティアに、また、藍住町主催による外国人旅行者の「藍の館」見学・藍染め体験においてツアーガイドのボランティアを行いました。このような様々な活動を経験したことから、さらに英語力を伸ばして、地域や海外との交流にチャレンジしたいと思う。この体験から翻訳など自分にできることや、やりたいことが見つかった。

- ・北高は英語の学習ができる良い環境である。2学期に開催された、地元中学生との語学研修座談会は非常に有意義であった。来年度も実施してほしい。地域の中学生との交流活動など継続してもらいたい。

- ・ヘルメット着用推進に関して、第1回運営協議会で、委員が話し合った意見を取り上げて、推進モニターを生徒に募集したり、モニター生徒による推進ポスターを作成しており、協議会の内容を実践してくれていてありがたいと思う。

- ・行政からのヘルメット購入補助金などが、積極的に活用されると良いが、実際には、高齢者の申請がほとんどであるらしい。入学時に多くが購入してくれるとよい。

- ・ヘルメットについては、大人がまず実践しないといけない。シートベルトの着用割合も高いとは言えない状況であり、さらに、努力義務という扱いのため、定着させるのが難しいだろう。

- ・ヘルメットをかぶって安全に対策をする姿勢こそが、高校生にとってカッコいいと思わせるような工夫をすると良い。

- ・防災対応の上靴に切り替えることを、生徒が発案したように、ヘルメットについても生徒側からの行動があると良い。そのような動きが生まれるよう工夫してもらいたい。



